

新任・医学系研究科長／医学部長

10年後を見据え、新たな取り組みへ挑戦

免疫学・感染防御学 教授 山下政克

今年4月に医学系研究科長／医学部長を拝命しました。歴代の研究科長が作り上げた土台を強固な基盤として維持しつつ、若い執行部のメンバーと協力して、10年後の医学部の姿を見据えながら、責任を持って新たな取り組みに挑戦していきたいと思っています。

まずは、臨床系と基礎系の組織間の垣根が低いことを生かし、両者が連携した研究の推進に力を注ぎます。また、学部・大学院において、臨床系と基礎系が連携した教育課程を作ったり、地域と協力した実習プログラムを新たに増やしたりするなど、教育面での連携も進めます。さらに、愛媛県内の医療機関や、松山大学薬学部、愛媛県立医療技術大学、岡山理科大学獣医学部（今治）などと協力し、教育・研究の地域連携体制を構築したいと思います。これらの取り組みを通して、地域貢献はもちろん、国際貢献にも繋がる多様性のある人材を長期的な視点を持って育てたいと考えています。

この他にも「連携」、「融合」、「多様性」をキーワードに、教職員の皆さんからアイデアや意見を広く募るだけでなく、それを実行に移せる環境を整えていきます。



PROFILE

やましたまさかつ◎1991年大阪大学大学院医学系研究科修士課程修了。2012年から愛媛大学大学院研究科教授、17年副研究科長。専門は免疫学。富山県出身、とやまふるさと大使。趣味は、旅行、バレーボール。